増補東海道膝栗毛初編

へ13
3694
1

門へ13
3694
巻一 1

物山人 筋
魁齋芳年畫

增補東海道膝栗毛 全七冊

東京書林 松林堂梓

人の保養ハ法にのれど滑稽本を讀むものの
茅屋の茅ハ[illegible]頤乃かまのうを解して笑ふ
戸さゝぬ御代恵寿うりて茅を祝ふ年の年
かゝる赤壁の詩を餞中こうおうの福が出れば
元祖一九翁が著くハ有る土產本保[illegible]
[illegible]ハ東代の人物二人ヒヨツクリと現ぜるうい東笑ひ
[illegible]十年古法腹の絵そのゆゑ世を[illegible]
[illegible]栗毛酒義を技同ハ[illegible]
大洋遠の[illegible]ものの缺ざるを[illegible]

品川
川崎へ二り半
雖非以命可奈何
借金不報搖屋過
夫居本貫越后國
將是川向成千戈
弥次郎兵工詠
鶴芝集
品川や
海も
山さく
士朗吟

ゐ借りかりの仮間屋松林堂てがめるゝ処所余た
踏篤の業を把て盲人の技芸常り任を京上りの
若沢を全情とだろうぞ可笑ゝ仕たるたのもの是ぞ
茶屋の秘蔵踏と云ふ岩ハ咲る業ひ泳沢寿山八
越烏かたうくとた茶新先言縄の詩行ろ縄を
猫打ると業ぶりゝ迂横いかぬまし口ゑ者人

巻意之

丁卯美

物ぐさ山人

道中滑稽譚 初編上

漢のナアく唐人の寝語り曰大道直くくして髪の如しと実に
搭蓋をもく往来の繁昌筋ども御代の先ためし沿
鑑武者ハ行しき強ふ英名を和ら是弓ハ矢大臣ゞ振り木き
刀ゝ頭ふ架神の漢前にを為る天下泰平の国り生れ出
いぶやかるを国この名所揚地をも見めぐり月代のある聖代
の御恩徳を業擢沢乃業のをたしふ行へんりのをと出しげ
二人の友ともふ鶴の尾の長とび寿ハ掘のこのうふ搭腸法
金をこのうゝ花の大江戸を主出るい林田の八町堀辺沢猪ぞの
泳沢寿名家といふ雑乗者食客の北八りうとる杉本ロうちは是元
かうくたーあうを手屋寿のいまりのたゞりのむきを走りく

つねはめるを吹あるる神風や伊勢条実より来る

とゝ為ぶしてゆくりかゝるもの宮滝の町ゆ来るる○宮滝一茶

とゝもれるるのたろう』と　柳点ゆ作られどゝまゝ

あゝ為あるのとゝもあく舟上のこゝろ一あゝし紀ふめるのゆ

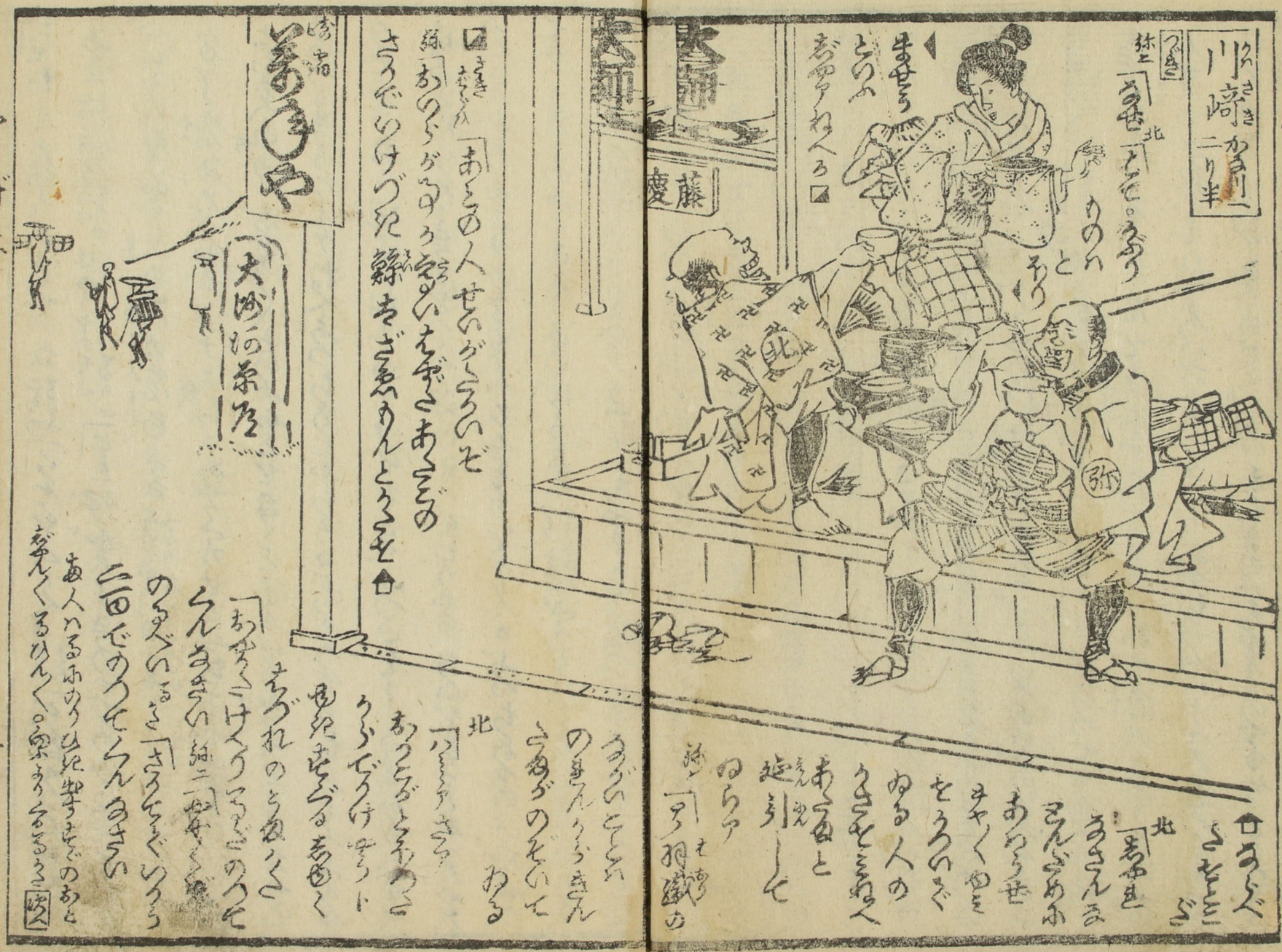
屋へさげかゝるるのゆ庫ゆ　あゝゆ世大屋の古借ゆ解られど

さゝ屋と来ゆゆ知しぬけゆ来られゆさやう　うえ家のどゝゆ

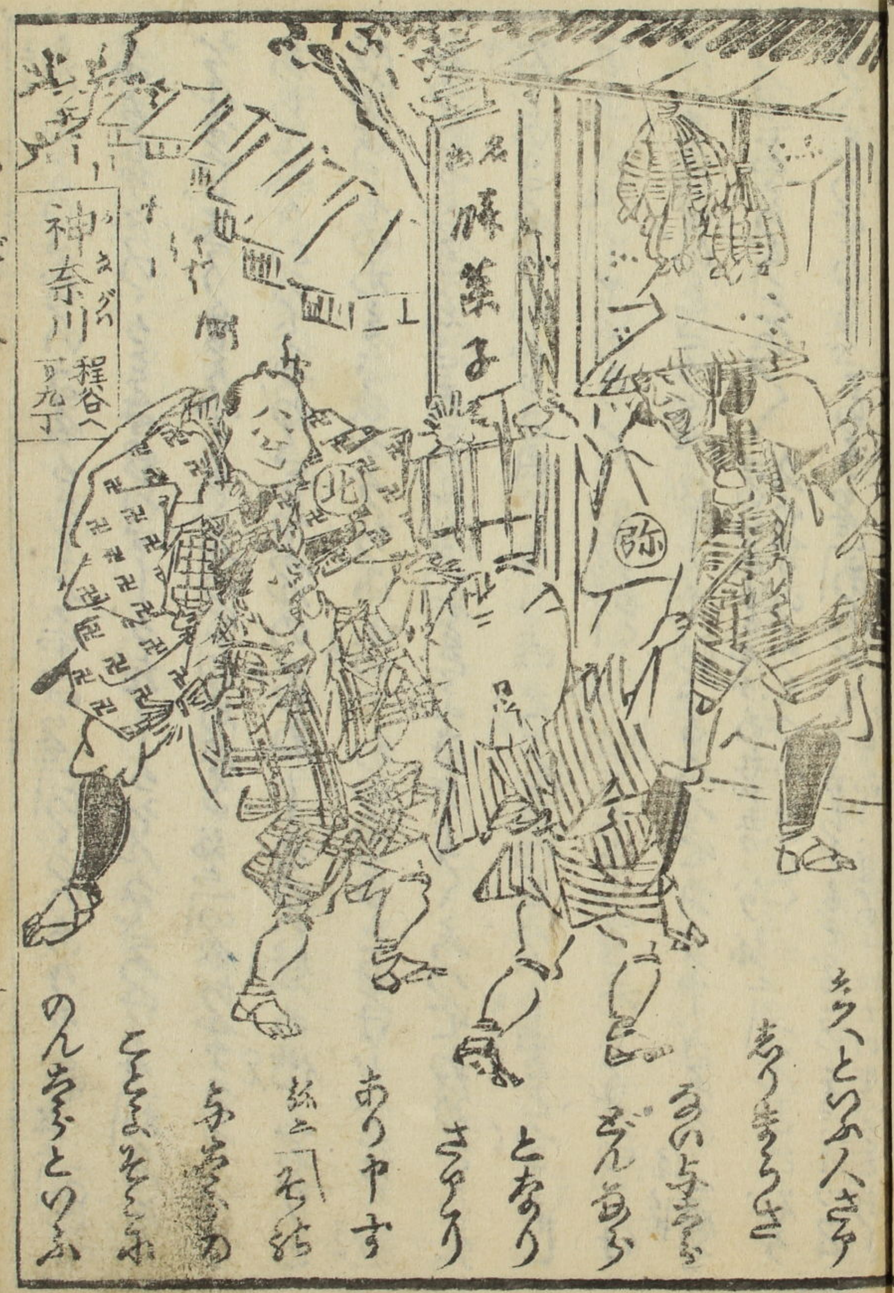
さゝのせよかゝるを舟ゆゆ今かゝゆゆ見むゆのゆとゝくゆと京

にもゆのゆとゝゆゆゆゆゆゆゆ品川の宿と為る海道京

坂辺ゆゆゆゆゆゆゆ


川崎かわ一二り半
藤
大阪名所尽
あくまや

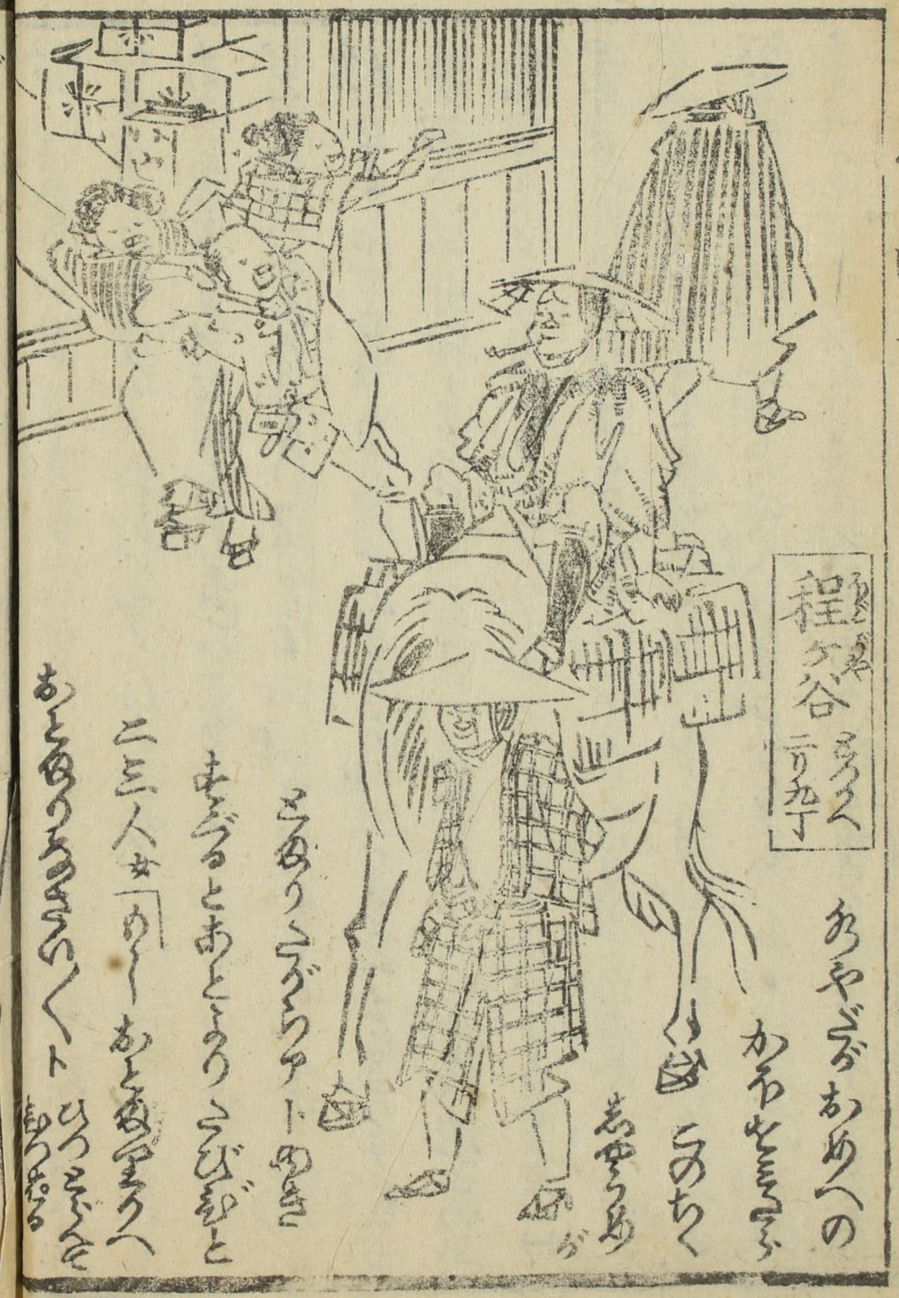
「へヒ」ちく　あやちめもちやのさ　ちの「こもをこらく　さの
ふ　ほれちあてやの　ほれこもをの　せこ　るこ「こ　保
あひさろ　ぎ。　ほれこもをの　せこ　るこ「こ　保　変よきのの　てあくこのんこもこ
やらこいありやア上の　ち　の　ち　の　ち　ぎ　ち　ぎ　ち　ぎ



ぢ〜さけをあつくかもむすめ手入ごまぜとまきく
まつかあきのあぢをあくあつくとちうくやもちらづる「こまいあまちどやさあで
ござうまーと 紙に「あめくのやつと 鰇 あらくあぢ味ぐらう むすめさん
ありためたまうをあつて女 「あるさうまきあくびろうござらまうす
しばあづふやく
北「ひろのさまづざ安方かづさまでくうくあらア 紙に「ろのさうまいちと
ようてーてあるらく うちくスーと
ごぎうくさいあるめのとのお者へ扱いむすあづ中元・つさうくろ
ちのくをうちらを 芝生とのふ村あくうを伏くふ十二とのらせまるうあとふ
あうさうふあうて「ごんあさあ麦交くまさい 紙に「ちめくどどで「回し
らア奥物ざ 北「あうまうらくどどざ 美「うさふかいてあうまを
紙に「奥物 伝来殺情山村長松ゆさまるうあのくもてめくちち
のちうふあさめんざふひくうきくごのいうーやであるうのせ「ふひくう

ちくくとうふ人さア
あうまうさ
るのうまさ
ぢんあう
とあり
さうり
あうやす
紙に「そ結
ふ安の
ちちくそくふ
のんさうとうふ

年のうくさぢいさ衣がある者ずゝ也「だくいあり」や也「正」て
あ者ゞ者ゞゴのくゝ者ゞ者ゞ也ゝ〜ゝ〜ゝたゝ〜ゝたんるゞゝけゝ也「あゝ」ゝ者ア
ちんなゞどゞゝまゝすゝくゝゝゝ



あやぐがあめへの
かやをきて
このちく
あやをうあ
こありこぐらアトのき
まごるとあとをうこびぶと
二三人女「めー」あとあまをうへ
あとありうをきいくト

旅人「まごりけらア女「まうめけてもようごさいます」
まこいまー」旅人「おろアいくまがみろちやアお仮がくられ」
女「おまんまのあごふきこいたうごあとあヤあいあれかつくさ
旅人「あくらめくまーいたきさあくろトやくふりきりてあくあと女「おあるり
あくさあー」あるう「そうごさるあすアこありまず女「郎百つそ
ごさいます」あるう「イヤくさうらい半ー」まうさまこいそんごうい湯へ
あくくあくてもあくごさる年いついそくくろつくこそアござふる
いめーと付いくろくこいいセたいづもくあやアくござるそんこいあや
おしこの中食いこのまたごりいろたいつめそりぐくをりこう
まんあもいりまくさまいたくこいい百十六文づも出ー」まうさろ
女「そんあくうろくあとをりまるいよあう「ア」そめごアいれあを

べい。絵二小八このていそろそろしくおりひ

おこりはいるどやとこの女戸つまくてふたりさんりろ

ひさーさろめ さろひ本絵壁板をトるところのひい戸つろふ二和とさご

め絵二「こまこ北やまろろせくちはしがあるみんでも乃弁い絵りを

まろめくくうるせくうろこみひとろのちろりごとがあるおいろいあや

ぢうりねーやアこ十だのごろろおそろといつそもらくくうろおごこれ

かろいやどやでいあやろのぶイホあもうあアねくろ北「こまこ北めご

そんあうあろろさんとろのろ絵二「さろくよ北「さろいろてまくいく

たがでもめつくろこのむすこをどしゆくめくせ絵二「ぢろアいくゆ

めうアつぐさやふあやうろ北「ろつさんや絵二「ろんぐこ北「ろめ

あくぢやアねつくろひつぢろうねく絵二「さろくよ。ろろくく

あくぢのあとありでべさトあるあひさん北「こまこあひさん

とあてこまるまいるーうこんぢんハおろありでおあひやとろ

ありまこ反絵「ろむさんさろぐろうぐこまろうろろろろ

ろろあぐろんやどをせんきとあふまこりろ大きん玉のあるとろ戸ふ

そまこりあくくの出ちづまあそあぐくろこやあろもあくこびい

ざろのさく一宿をとくべさろぢくあろのうちこのつきあうとつこぐぢ

をころ紀ろうると女ろこ紀ろりろこる絵二八おーをす皇で「北八ちまづさやちんもさろとい子のぜ

あきろまこ北「ろんぐきあそんやそいちぐ手げろトかりをころとゆふもの石つぶあ紀ちぐふまぐふまぐ北 こ三文

ろろりとトぐ女「ちぐふお陽ふあめーるきいやせトろいく絵二「ろの女め

つくくんまんまくくべこんぐぐぐぜんろくりといふりんご北「ろ紀ふ絵二

さん絵二「そこまこ女ぐきろろ北「ぢろとかろろさんゆくろ稲くい

女さうぐきと 絵ニ「サヤ 酒ろ江戸のものとうるとごごでもとまでごこのう
うるさい 北「さけそ出あやアべつふせふをとるう 絵ニ「ふまてるのよりそれより
絵ニ「どてい〜ゆさんとまでいめいこくご
絵ニ「ゆさけさうるのちのでてあいさうする
北「りあ。こうあふうあうでどぐりまますうこくしいとれさうで郎意う
たのまのこ〜〜とそりまし〜こぐとのこびたうごやふありまし〜ん
とんふもちがえんせびじきあうこぐうそごめてのあきあくさま
西岳様とおとろさ〜〜あげます 決〜て泥料ハいてきまま
せあかとろあれすく〜〜あぐつてくぐさうます世 絵ニ「まいあ
でうい考しごちそうふすつとちどろあきのごくご 北「ごう
いこ〜〜とのあふあすあのものでれます あるうとトいでゆく北いゆうりいぐ 北「ゆう
すいのとうずあまふてきうこあるたぐこうあうぐてく 絵ニ「コウ

北「さうぐうらうとありつくめいうそぬるそうもうつさあしい
まぐつちぐうけぐ〜トそそうあ人ちのいつあ根北「あいつさけぐ者い
かあぐとうるのあ根このやし〜考うがふくあえびいうく 絵ニ「えれふ
出ひのいまぐうのう出さうふるりのぐ 北「いあこまそくあるる
まや林さあ〜あげるのぐイヤうぐそく 女まひのもきう北「ぬあの味
噌ぐこれふとうしいぐうしこ 絵ニ「ろうるあいつくあうこ
つそうとあひくさあのきうう 北「あのさんあひぐ〜そうんな女「つうくしい
あふのきのあむちゃふる
いつうう〜こぐえあ世北 まそきにういちとサそ〜そうんやあ
とちのとチこまぐかこあのさうぐきぐのうろうきん 絵ニ「せこのれば
ううこあうこさうぐ北「ふようあうこもきぐつえて 女もきもをつぐこうぐ
らうけさうぐけさと

北
弥
戸塚の名酒二り

ふすまのうしろにのぞめこぐもうるさくわろあひのさけもきこゆ
いつもありひめぐらせばひとうねゆもとちのまつふさるもめしりの
あるくしあくうつろひたるあゆやかりのもやこのあんやこのひい
かくつてきこゆのこくつきこうとちろしくわとうくひぐく赤
あけのうもありそゆいあるのいうくこゑいとくこゑるめ花の
あとぶうくく　あんいきこくらくこのこのやこちのこと「こそこね
きこゆハはこゆあるあんこゆ　詞二「あのそのいのこのこうとこうまのこのこのこ
あんごかこそがここをあのひごーこちとふきいできこのこのこ
見あのきゆこ　詞　「はこんぶやうのごんぶがこうこうこ
ゆとこうた　詞二「つくうくく　詞「ここくくこゆこここる　詞二「つくうここいふふこゆいゆ
いへ　詞「あゆ　あいゆがごぎうやせうこ　こちうあくこのいうくこ

かるいはぜゆとろゆきこもつあうさきの相撲あんがあるうる
だんなでもあーいつぷんでいあるうまあるのうえ田まちのそん
ごんこんとりやきうこやめきらこひもあうちうふどのうみけ
がもうこんあるこんあるこのうちりうあくこうくこうゆのごひゆあう
うひうきうるぶあくこうう詞二「あくゆまーれそまやらう　一文もうりいごすうと
詞「とりや大雑さいありがこの詞二「ヤ巴文せんうるむさんこうん
ほうりをこうこせ　詞「いくく　「いあくまーの。そのうちそやあ後濃の様
ぎるふいうりあやーげるるちやきせふゆすむ北「ちアさんぎん
だんごいつあてくのぎ「ゆたうりーんぜきすぐのトけーすこの
きのこうもうあいずあのぎこそると六十ぎうりの　あぢ　「ちとりのをこそ入
あやちのあうーきづくこせうくうるぶこきゆあこそ
ますぐのいのきあくへぶうりのきます　詞二「ひの志あうくへそんうくう

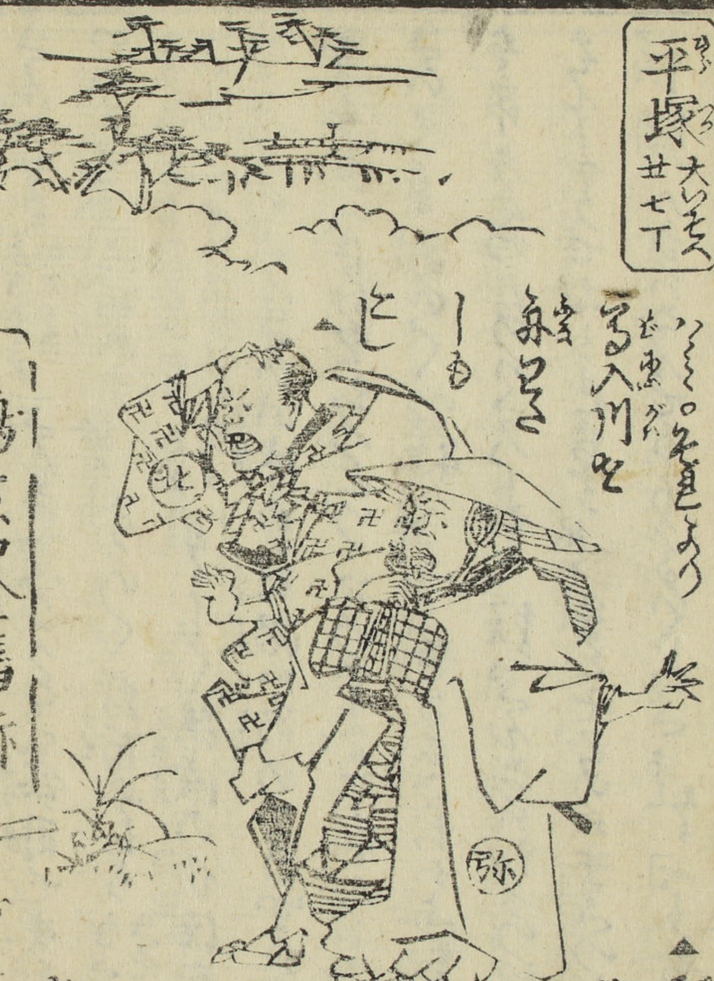
とまるよりまつまちぐわらうそのはなしさかのあてうのまくしの橋が
あるうら北「ゑんゆきてーさいやアたてーうそのの橋のむうらうのいき
及かさんのある家屋があつうけ絵ニ「そまく去年大山もくく
いつさまさまくくうちぐアノかうアいたりのよ北「ぐうつまつぐ
まぐきのそのらアあるぞ「りしくそのの橋うふぐうの紀本絵ニ「北」を
とすとうりあるぞあるそこをまッもぐ北「まぐるとの南へあつ
こちますよ絵ニ「ぐうつそのうつ。そのの屋をもッとあくと家屋ダ
二ちんあり平すう北「あもちらきつくさのものとつへせるぜ絵ニ「そうちやア
右ぐへご起ごうぐへかうちへいつくよきうわんのぐちくもる鯛の
あるやゆ死大起うぐあびのそのひてるあつの北あぐ「りしくつくへ
そんなりのいつうずとようぐるそまつぐぐうの紀本絵ニ「そまを

こんぶ屋ぶ屋ぶ屋

平塚 大いそ 廿七丁

天磯 小田原 四り

鳴立沢舊跡



▲新つるを夢 北「鈴こさん

とみたい 行

とろ

いつこうけ

をひいてゆる

ゆるゆる 花あ

ゆるゆる 北「あらア

ありつて「そまでもむう〜荒波高く十もの年をあらつてきた仏ゆ

むぐくさむい夜あけぐそを浜ゆ

つけてそのぐきのこ北「その子北のうぐ

工夫ぐ大きゆ当て歌ゆさあうぐ

ウレいんうる蘇屋ゆとぐうゆ

ぐいわくう北「ぐうぐく。おくそ大絵の町ゆ北「鳴立沢

文学工人ゆ能仏ときそえ〜絵ゆの像を

つとくゆあくゆそうくそゆ

○表人ゆ江戸の長丁場ゆ

く潮白川ゆくるゆ浜くしそ

[illegible]

小田原の名所なり　引「あるごとあるとあるべきもちもちけそ」

小清水の関川屋ごぞ宴者ごぞ　引「そんだんいきあるとあるお酒でぞ手」

うらごぞうどちらてく　引「うてくく」　引「関ときいとら」　引「山ぞうてうとう」　引「ぱ」きいん歌るある　引「八十歳と八歳と花ごぞ山ぞ花ごぞ手」

引「そんるいらくうある」　引「三人とぞうてうまず」　引「五ぞ五ぞうんく」　引「ら」

どぞうあちあ　引「きてうあいはあちあ」　引「うてきてんあるりやすう」

引「ごぞうあ来」　引「まちいきんごあ」　引「海ぞ家」　引「ちんをおらき」　引「ぞ」

どぞうあます　引「ちあまてんきんどぞ」　引「ぞ」

そいふあんご　引「くくツイムちごまぞ」　引「ぞ兆」　引「ふてきんあふあるんごと」

藤栗毛上終

道中滑稽譚初編中

引て　引「ふ」　引「ふ」　引「ふ」　引「ふ」　引「ふ」　引「ふ」　引「ふ」　引「ふ」　引「ふ」　引「ふ」

小田原の名所なり　北「ちや」　北「ちや」　北「ちや」　北「ちや」　北「ちや」　北「ちや」　北「ちや」　北「ちや」　北「ちや」　北「ちや」

まんざいでる　北「そまあ」　北「そまあ」　北「そまあ」　北「そまあ」　北「そまあ」　北「そまあ」　北「そまあ」　北「そまあ」　北「そまあ」　北「そまあ」

つつうとんとこの湯　北「ちゃ」　北「ちゃ」　北「ちゃ」　北「ちゃ」　北「ちゃ」　北「ちゃ」　北「ちゃ」　北「ちゃ」　北「ちゃ」　北「ちゃ」

北「こまく」　北「こまく」　北「こまく」　北「こまく」　北「こまく」　北「こまく」　北「こまく」　北「こまく」　北「こまく」　北「こまく」

北「きこ」　北「きこ」　北「きこ」　北「きこ」　北「きこ」　北「きこ」　北「きこ」　北「きこ」　北「きこ」　北「きこ」

こげてらあいあ　北「こげ」　北「こげ」　北「こげ」　北「こげ」　北「こげ」　北「こげ」　北「こげ」　北「こげ」　北「こげ」　北「こげ」

こいとふんご　北「そんな」　北「そんな」　北「そんな」　北「そんな」　北「そんな」　北「そんな」　北「そんな」　北「そんな」　北「そんな」　北「そんな」

たゞこゝのをすにねゐやアゐらねへこのゐら女ゐゑを 絲「ねへさん湯が
ゐんもちきてゐる」 北「そりやこゝを人のことをいふあめくが天竺湯
がゐてゐゐあゐゐをもいらきるゆめゐあがゐ湯ゐゐいゐへゐゐゐせゐ
とらひゐゐせく 絲「まいくかしこゐゐ牛ゐ 女中 きて「お湯がゐゐゐしゐ
ごゐいます」「ヰイーをまいちやアあゐがゐいてゐゐゐやゐゐゐト ゐゐゐを
ゐゐゐゐゐゐゐがゐゐゐゐゐゐゐ

あつれく　せとものとこそ　ものふかきとこそ　きくうぐるきぐはめいろくくん　くくつい
おかつて　ふぐとこそ　ろうけつ　ふぐ　さくくとうるつきと　ゑれ　ゆけこと
きりこ　北「絲沢さん　絲「まるのみぶり　北「うるわとあめくのいかとるわり　入ゑを

たるとあろうもれへあく
いこころもちこ

小田原　ちこるまへ　四り八丁

ゆうこんあこやをがらめんのアテシ　絵と字あこやをがらめんのアテシ
あくこうこうりゆこうりのろく〳〵とあるりぐらけこうこうとあるりぐらくとあるりぐらくとあるりぐらく

ゆいちとうけゆくうらうちくうるめとそくまるはくこ北八ゑ[illegible]
きさうとものごがいうまでやさこまるれだあやまふあんしゝ絵「あのくらいうる
めくさうはとそんきこどくよちうふちつとこあんごうのだあるくうこうぞ
ようこーとそんねく「あのあるぎごどごいきすくのうゆこんゆうこちんゆうふうこうく
いきすくうのうゆどくくうゆ生」こ絵「あくちんゆうこちんゆうふうこうく」お侍
ようきうきーートあうこ北「ゆくくく

箱根
三ノ
廿八丁
祝物頭の品々

ごぜうどのゝうへにうごくことのごとし「ゆ」「ゆ」「ゆ」「ゆ」
いとのごとくにうごくなり「ヤアヤアそのてのどひふ
どとあり「ゆ」「ゆ」「ゆ」「ゆ」と入て七五三のゆうまきのごと大
うこけさうなるあつさなきもそまであるうらう「ゆ」「ゆ」「ゆ」「ゆ」
かくさぶきうつけて生きよごのそのもぢはうきすとごうらもあるうら
ふぬごひとあり「ゆ」「ゆ」「ゆ」「ゆ」

あらいあり　北「ハ」くく　絵「イヤ」あの人をもうまもくぐろうすれ
北「ありしろくくうんと今後ろうちらとうあよおそろへどうこ
十「ろうこぎうませろう。かくて一の山をまこぐふいぐろうまあの子とも三
めいおるきのをべ　三人大うまろうれんをいおあ山ぐろう
おるをこえつけて　北「コレ」絵「ひさんあのまろうれんを買そうイおあ山ぐろう
かくいぐろてこ　絵「ろうらう小僧やそのまろうれんをうくわくろこんろう
おろうまろうちろこべいちんぐろの絵よおこまきるろ北「ろうとろうくろ
大きこ揚こぐ　北「ちんぐろうまこべやそ　その日もこまおろうろ絵
ろうこ三郎の前おろくこ　北「おとろうまきこの名せく　絵「ひろまろうこ
ろうこ名ろうべい　北「まんろうぐ北ろうあとろうり　絵「へろうこうこ
絵「あいこくくくまろうこうぐこあぐべろうぐころうあまろんひ絵「とろう
ちろいいろませぬろ用のまろうせちちろいおろうこぐろい　三人いろ
絵「お湯おあ色ろうこの色　絵「あこ絵人まおらろうトみ　北「あ
ちろ温場でこぐろうまろう　絵「あいこまいトこまろうの。さぐ十　北「ろ絵おかの
ろうろうづとい北「ろこのろるおあ紀やしこ後の廉ぬおころくろう
ひ四おろう　絵「ろうあろる十ちあ色ろこ色ろこのろ色ろ　北「ごあん下さろうませ分ア
おこ人いあろうろ。あろうぐこあこあハ北「ひ絵家物場者いまは登
狼ろこいひ四ろ　北「ハろアあろこ絵「ひ北ろくろこい株物山猫むろ子一
ろこ来こ中四ろ　北「ちこいこ三人さ色こいあろくろうんおこさろハ
ろうろあこ三色こ　絵「かんろいこ十おろうやろこぐおろくろう民こ
絵「こあ色ろの前ろ来ろころやめろこぐおろくろう絵八さろハ北ろぐきんまろぐ
あろこ北「ろうろく　絵「あの又猫ちいぐこおろうこ北「ハアこいぐこ
ぐろ絵「ろうこくくちんろるちんいぐろうこ北ちくこ絵「ハくこ絵「ハこいぐ

[illegible]ばとあげるせうトてのーもがひろこむと女北「こるれふこてるまるうまるろめい
[illegible]
巳の女「このるるホ男の遊ろうら来このご二人ござるホ男このいつアア
あ巳ろろらろ北「あもんろいるんでろ
[illegible]
門の女ふまと巳ろ巳男ごうろ巳ごれ絵「ろ巳へアノ
二人ものるのろびふのそろん女「ろアくせろるさろく
[illegible]
[illegible]ぎるすがいるろびれるさんるいるひろ「ろ巳ろアべのるこきアア
出ふ男アるろるいさアあくけさんろんでるきろトろろるい北「ろろく
ろろ人のるれふ女中猫いろ引てはふあるやろ女「ろのるふーまるす
[illegible]
[illegible]「ろやるるろーふるトのびまるやーるれ人のるるつる「巳ろアア
[illegible]

あまろ人ちのるこちるアろんまころるよるさしてあるるのドぎんろ巳の五大力ふのかんさしをぬいるる「コリヤ
アアふるるるるいけのるしらるるろるこの今絵さんるる腔尻の表十
さんふ男てるろうるるけでるいふるるるんる巳く内ろうのるんふひけろ
かるろふ巳もハアあのるるのさるすのるるさるいるるるるーいろる
たるひれるるるからる武十巳女ろうちるるるるート女「ろろるさん
ろるるくのるーるるるるるるろトるるふるるる「ろろアやるるるよるるる「るるる
ちやるアとるやれの辻のるるるるるる

十吉

三嶋

北八がおれいろうけ　あぐら北八きまつとさそんでをろうぐすと　北「あのうこく
ひろうらいてめとさまるしいろうぼりむとあれのいさんれとうらいてうさまず
あるうるの　北「やしうろくあけこあじをうあるこく　北「あんとあるこく　さうまるをとうこく
と色ろくうちゃ　ぬるうるうるう

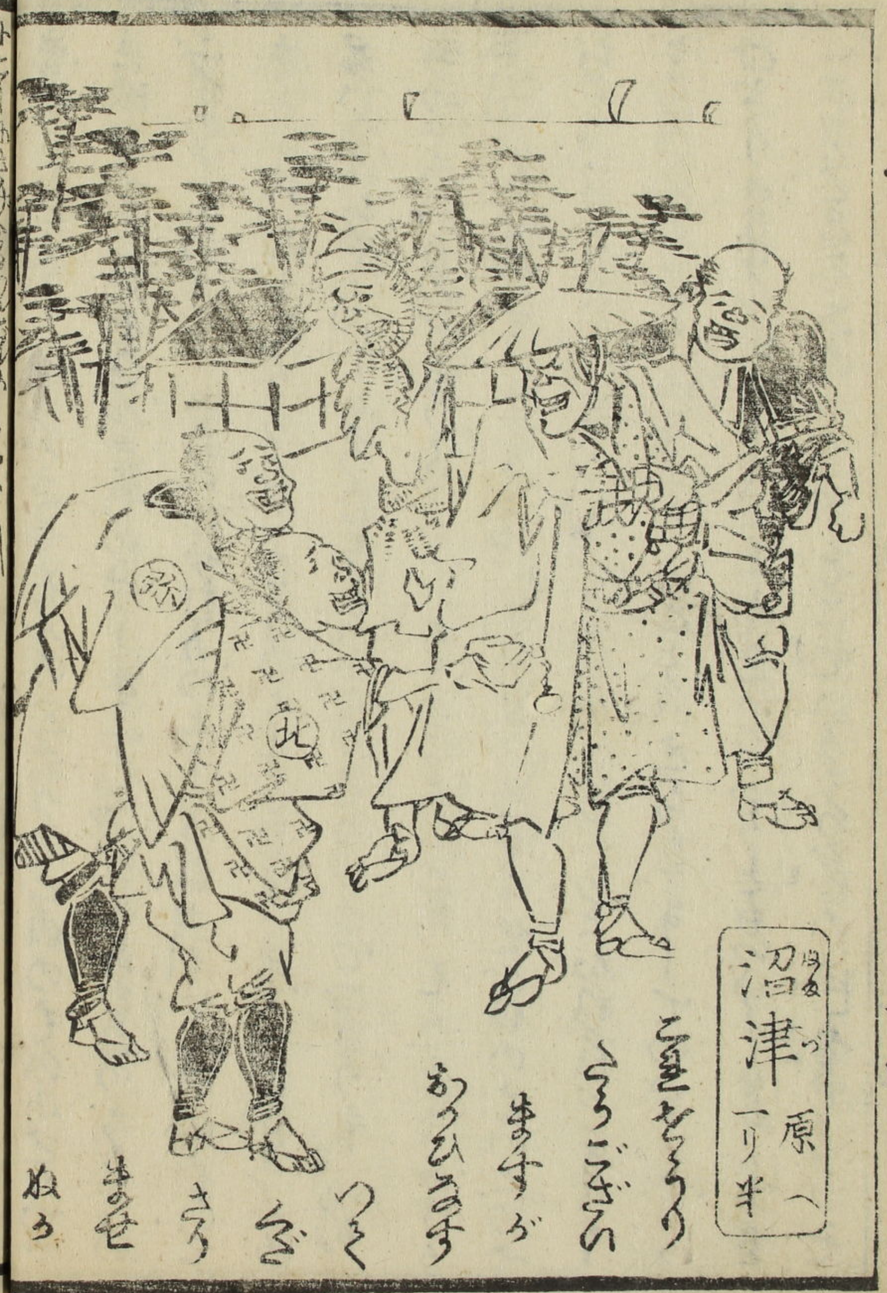
下の
あるらうちも
ごぜのそこそこく
ごぜ〳〵くどうん
ごらうそこそこあき
のごくる
そふあき
のどくの人九さるざ
イヤ〳〵半ぜ
次へ
ぎさ夢
がるとな
髪ぢふすこそ紀
とこ
きそ
ろ
せわ
どの花の
ふろのこ
あーのと
の
上へ

あるはまこらアサヤ四斗樽とそうぐ世「まとごるとうく」絵「四やさ四斗
樽とがつてんぐとあるうらいきさあ也一ツあるのきうひごさ「これい
むこうは。伽とーらげ四斗樽とそうあるせう」絵「そうあるうひがあるう
ゆうぐうらいあのさるまでとてのうちふ藤てねうこれさ「あのは四斗
樽ゲ絵「引てサ四斗樽イヤ〳〵とあのまいく」北「まいく」絵「さん
まアまぐうふまるせ〳〵からくきうふごてい者のまうこをおやア
ねくとらげまゆ〳〵こうちげうりいまうこげねくあきらあるせく
「まうく」北「まぐうこ〳〵ごりのうちく」絵「どうこてのあひやこうらげ
おうまるものうこものごきうさげあるはさんこらのは暴おとや
のの北「ちげく」絵「さのうは絵「さんらうこうらうこてるもちげまうねく」絵
まこをあるはうるうるうる

[illegible]

[illegible]

[illegible]



とりあへずくるりんぜんのさきゆく
きんちゃくそでーしたとせる

「そちらのものをとりとむるがいなどしいづ
あそこそちのろんぎとあれどめとあくつかはさうがあてうひはまが
ちや北へイこ百めんどうあふさてーーあげませうさもひ「そまとかかる
ちゃくちや北「ものこてーいあまりけまもこうさもひ「まてくだいうと
六十めんつくはそう北「そまろはんまうさもひ「六十壹文のつく
いそう北「のうちつとでどぎうまます「まてくだいが六十壹文つくは
そう北「のうちまてーぎうどさもひ「さてあくだいきてよとうぎちうふていども
うくうまんどとあのうて六十四文のつくはそう北「そん壹文づつあくひ
ぐさうくはとさうどんぐてうはせあううてーまもうてまあ四
やさうまを「さもひ「ちやうどそん北「百のとでどぎうまます「百
文のうをとちうぎとまうすうまくだいちやうどふのとうそうは

そう北「さてはこれはあつぐるうどぎ」トきんちゃくを北「こまるこれはあまそうらも
のでござりまする」ひ「ふしぎなる猪付ぐるこは立百ゲめのどぎろ
まそ」ひ「イヤとどもせずまこどの人のようなものでやと北「あるこ
まぐごあるころうあころうけまらしまするどもいあんのおかさるどぎ
まそ」ひ「つのうぐるこあころうあらこらこらあるまそ」北「あこと
あこるまこ北「ふくりこ十六七あるもあるりまさこまそうひ「ひやこども
つるのえこるのるまこ十二才ひまるこるる北「そまこあるこるい
ひ「こまこいどもあいさるまこしあるやくのこのつかさくのあるんるまきぐ
ぎんちまあるどこそどうれんでまるるぐそのうちぐ北とるぐるろ
ちるこいとるひとるる北「さるうこどまもうひ「そまはるこるいまま
どもぐこどもぐことを故人助るるひ仰くどるうどもとゆ北「ひ

るるりどひ「こまはあそのくいるこるぢる北「あこどるこまもこ三十
七八あるりよるる北「イヤちるこるうどどぐるりまるひ「百る北「イヤ
こまこどぐるりまるり」ト北とこれんひ「三百ゆいるこるとこ。まるくくくく
まるくくく

ごぐらすりそのむのごうふうのうひとつゆとうんさ「八十く」「うつぶ
つまぎョヨウトよーしく」あしーゴのむくすりのまつこのそうつこゆで
ゐんまびきうねくとのうぐれふかいとあるまきーわ」をさ「そうる
ヨウトよーしく」「トあるごをのむ」「ごうふうくとのんで」「さうのうう」「でんぶ」「ぶ」「ふ」「ぶ」「さ
今こひーそでいかーわどこ」「豆ふゆーとうゆうんーあがそう
相乗の名ゆあうぎたてるふゆるひふまるをひとつ人せ
かをゆ見の匂ひを嗅ぐゆもう「匂」やとゆうふうい
うるとぎのこび

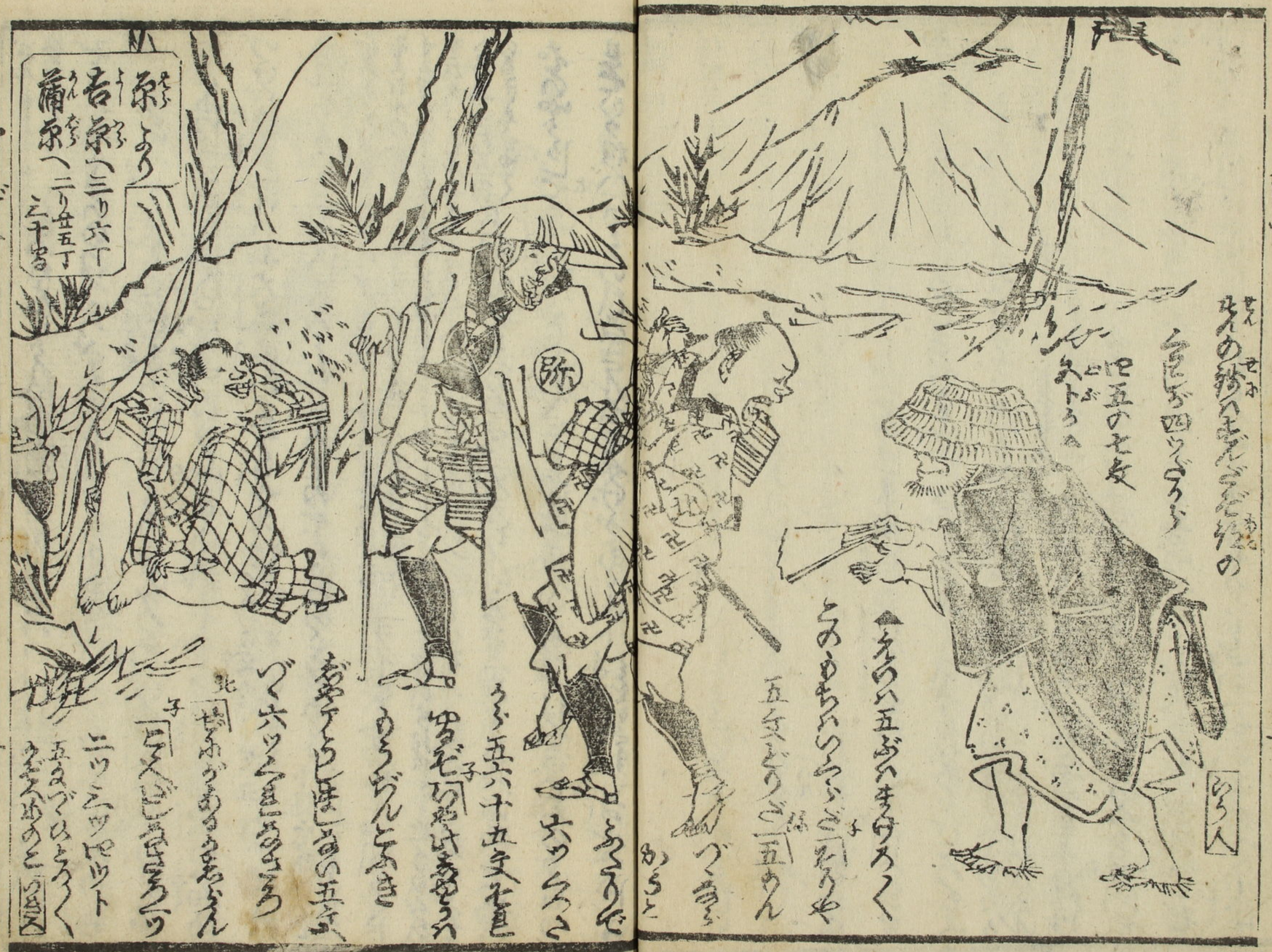
膝栗毛中終

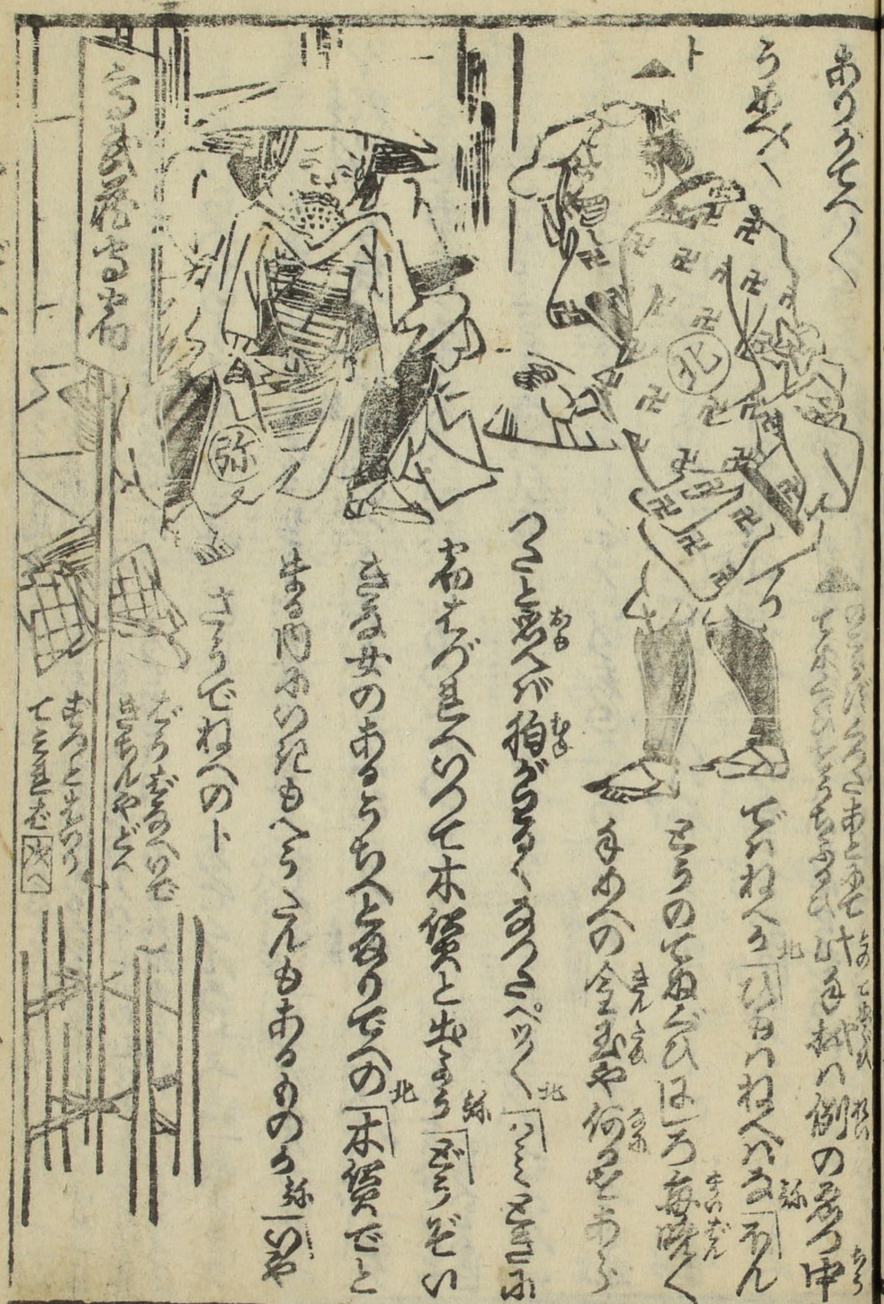
道中滑稽譚初編

[illegible]

[illegible]

[illegible]


そのあくまぞくの
白ぢら四ツごろう
四五の子分
久トうへ
えうい五ぶんきゆろく
とのめちいつてつぐ「そりや
五文どうぐ「五ぶん
づ
からと
ろう人
所
京より
吉京へ三り六十
蒲京へ二り五五丁
三十ぢ
ふくろぐ
六ツくさ
ぐ五六十五文七百
ゆるぐ「ひのあけまをろう
のうぐんとふき
おまてとも世しまの五文
づ六ツくさ三ぢまろ
北「せんがうのうまうえん
子「三文ぐしまをろう
二ツこツピツト
五文ぐひとろく
ぐえんのと「ひまを



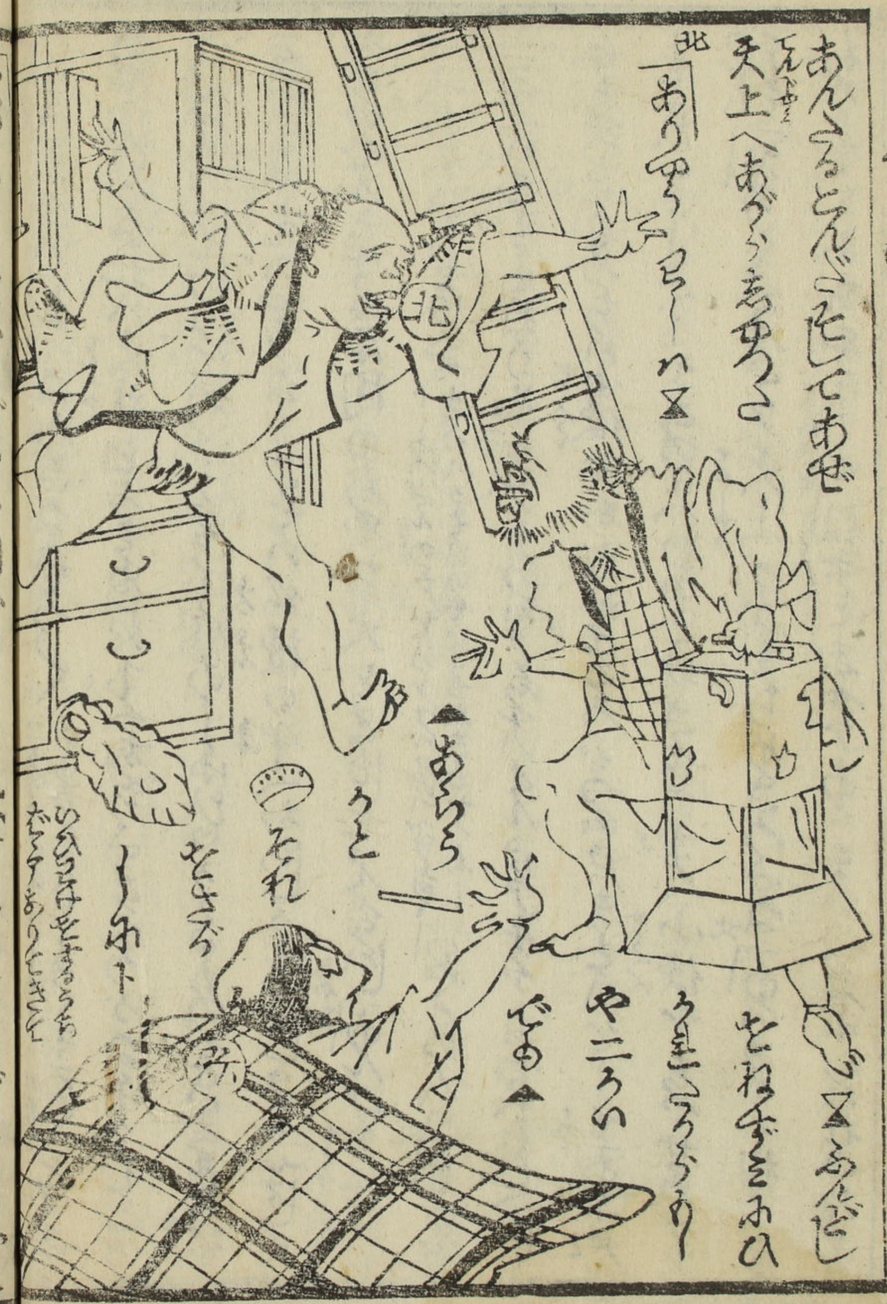
ぜんまつり　ぜんまつりのあつまること　ぜんまつりのあつまること　ぜんまつりのあつまること

蒲原一り

[illegible]

[illegible]

[illegible]



「らやく」こうろうがこうろうれく臣もうア六十ふるりヤがこそのこに
あふまをでいとあるうと臣がひとろくちいこをめこうくヤこうくこん
こうア三がちうをうア世れこう臣ごるハ二十年もこうちイそんうまあやこう
高いこうア中絶のこうじてあるもくよあのあこうくやこうア西ちひのこう
イヤこそうんこうでるるいんこ「北ごめんうせんコレ紙次さんれうこうん
高でのずこあるでこうんうト中りあこさこ臣ごうこう」「ぞうもこけくものこうふうのん
あこうこうのうんかくがこうこうやせんぞうそこうこうこうんこうんこうせんこ
高こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
せふこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
こう

めらるオ あるアとやアせ きそうちいのもあさいやアす 絵「アそやは白い女たち
あびさうる女のこゑいうこそうやさそこそとそれうこゑ白ねのあそく
さろこ様とうらこすふにろふ大あめふりのどろまびれこ浜くこそけ
田ろのらう清ろんが実の風ふ家もろんこやこうろんねやこうろく こ奥 浦
ふいこうつきここまげるこ家 ろふこ ろうあめを ろのぐ 北「むろアこん
そのきるこをつけこたんとそここ ぶ こんるせ人 絵「さてく 区」ぶりを
あめくのうれせうんここいうもあころ きやでめやこうこそふけふいちいさ
みとそこここりうアあやきくさろこ あいこうじやうの「こ」こ
子このいあざんろい 絵「そんあう孫ろ きじ いんね子ざるけこまアきこやハア
あざんろい 絵「ハこ」 あふくのきどでるけこまアこ このろ孫であう
こ「いんねるこ あやうあざんあいこ こうりのうどやの子であるこ

絵「ハアさろうクコウ むの子。ごんとぶあころあつこそきこひる「ろらア
やアこ「ろせいやこ「孫アつけるこだんどやアざ「ろんのねろア対こあめる
きこるこざろ「いんねこしらこそこちやるアつけてろりや「ころう
やざこうく ちろとあつこやうくそんるふ太ふやこうこうく「ろんく
絵「あんとりく「市アん 絵「あくをーい
のこ ろこをこもいやこころうぬくに
ありのあやくあろふこ
ああるやこるきいく
ろんきづいく

大ぶりふ富士の
根ふとそあこて
江戸ふ最の
晴あぶりろ

由井
沖津へ
二月
十二日

[illegible]「あんべうあ」[illegible]「あさんどう」[illegible]
[illegible]「あんべの服」[illegible]「あーこ」[illegible]
[illegible]「我が」[illegible]
[illegible]「あ」[illegible]「とう」[illegible]「町の」[illegible]
[illegible]「あ」[illegible]「あーこの」[illegible]「あ」[illegible]
[illegible]「昨日」[illegible]「あ」[illegible]「四」[illegible]「あ」[illegible]「肩」[illegible]
[illegible]「あ」[illegible]「あ」[illegible]「あ」[illegible]「あ

そこへてくるりゆア
ゞ丑とあぜおれおぶウ
かくつこあくくらきち「ヤイ
くるる
市イあんと」さそのろ
へこさふ」てやふまい
さるの
あれて「こくゞりてつの
ゞらのきあいきゝ
くりあんうさこい

▲行ちの女子やの
ばいさきを弟ひて「あのかべのきにふみ女の
つゝれ洗ゞるさ多の天のあイのやぶ「あや立
てらゝア世いのこゞろの女ご。うぢらゞ多るの
ゝろこさゝッたとアイるやうおそんぶれあゝア
あいれ弥ちゞ「ゐんとゞこゞくあらゝうゝ北
ゝまよゝ
さゝうサくゞのちゝれ
ゝこゝい三分と北自と武あゞ
ゝ
すぐつ▲

ごらうあ[illegible]とら[illegible]てあるのろかつてぶあるれへト
あぶるるとき[illegible]ハ[illegible]さアこてあるやせろうとつねぶちずつとのるんのうちへたろう
ようくあのぶきいきくとろいめあうのへあんまいする二人いそそてやをちろうんす
ろとそのさーいくつるあいろればまてろそのまふなろあるものけてあり
ろろ[illegible]ハ[illegible]ぶろうくびませろ北[illegible]ろんろ[illegible]ろ[illegible]ろ[illegible]てあげませろ
このろちあいくこの女弁さまつく[illegible]のいを[illegible]さの上田のこそてあるあるすのあびをふろちち
アまんのろちがケ北八のあひくさ[illegible]あるちろめれきんめろこのおびろちくめんのうちろ
いづけもめくくふこんとはちろ大きの[illegible]あくあぶいまくくいろ[illegible]あくえくでるいい
ろろのこむこんをひろくく
アノろきこあアまぶたたこもいまこのいヤアいさあヤアく[illegible]
ぶめつとろちくろいるせくこけくしめきけをそや[illegible]こまろう
まくこ[illegible]ぶるのさぶきこの[illegible]ちのこ[illegible]
[illegible]ハイ[illegible]子[illegible]ころ[illegible]ト[illegible]
やろふ破けさんがあそろの色てあまいふろうぶあり半ろふちろろり

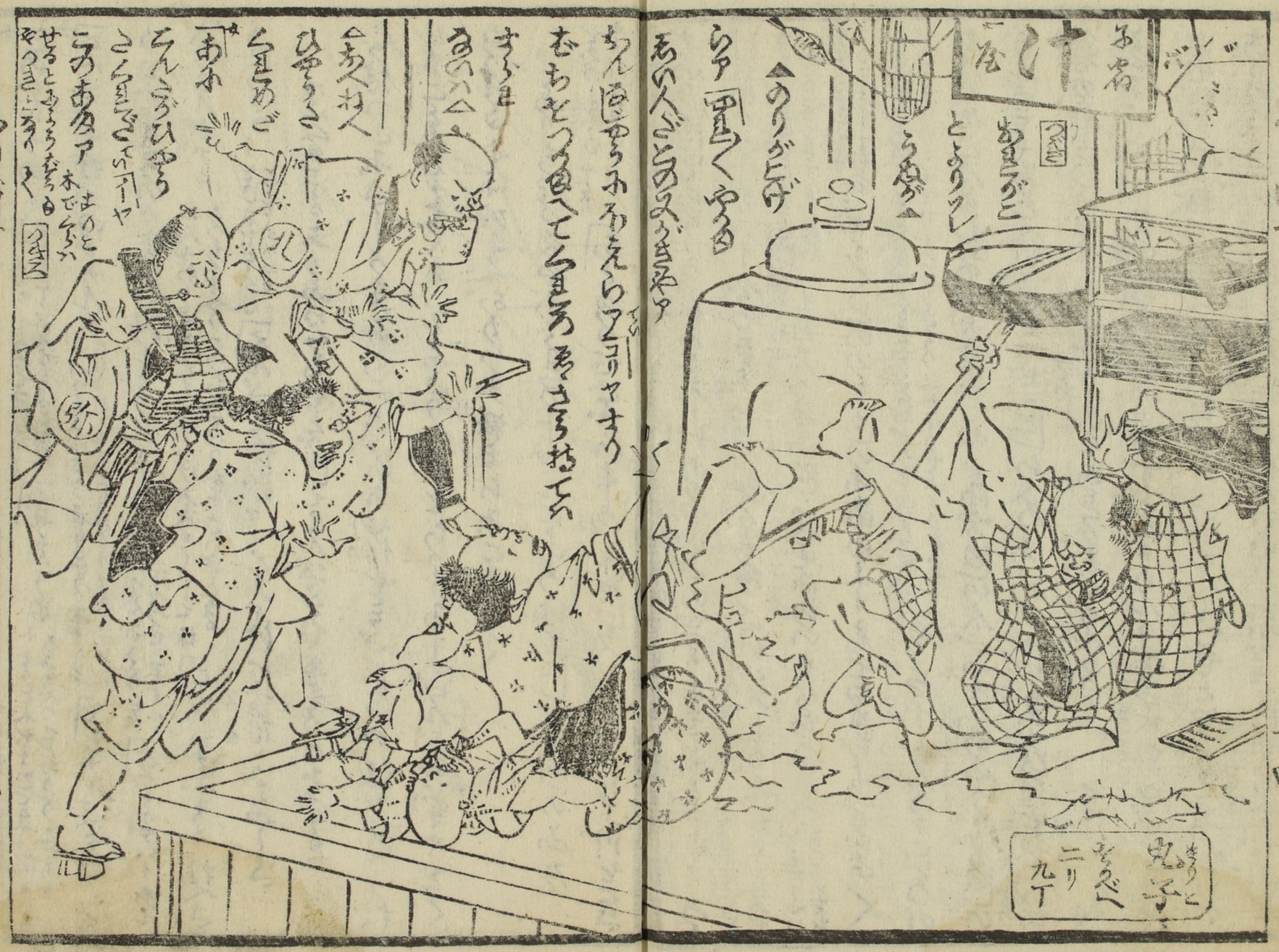
きころ[illegible]ときア[illegible]ふいろ[illegible]ハレをあるキアス赫のたさんいちぶろろ[illegible]
れまあチやあろうぶる　こんぢろうろふもくくといつてとの[illegible]ひとを
つるるとアコ[illegible]あるくぐアめめとろちくよろて二つのまろせくあいまア
前章
あるいちあぶろ[illegible]上ろうまいまろ[illegible]ぶいありぶろちぶ
アまホ[illegible]ハ金ちとヤ半ホとろい接左ろいい後いちろのこヤ半　トねいねの
[illegible]ろ[illegible]ろ[illegible]ろ

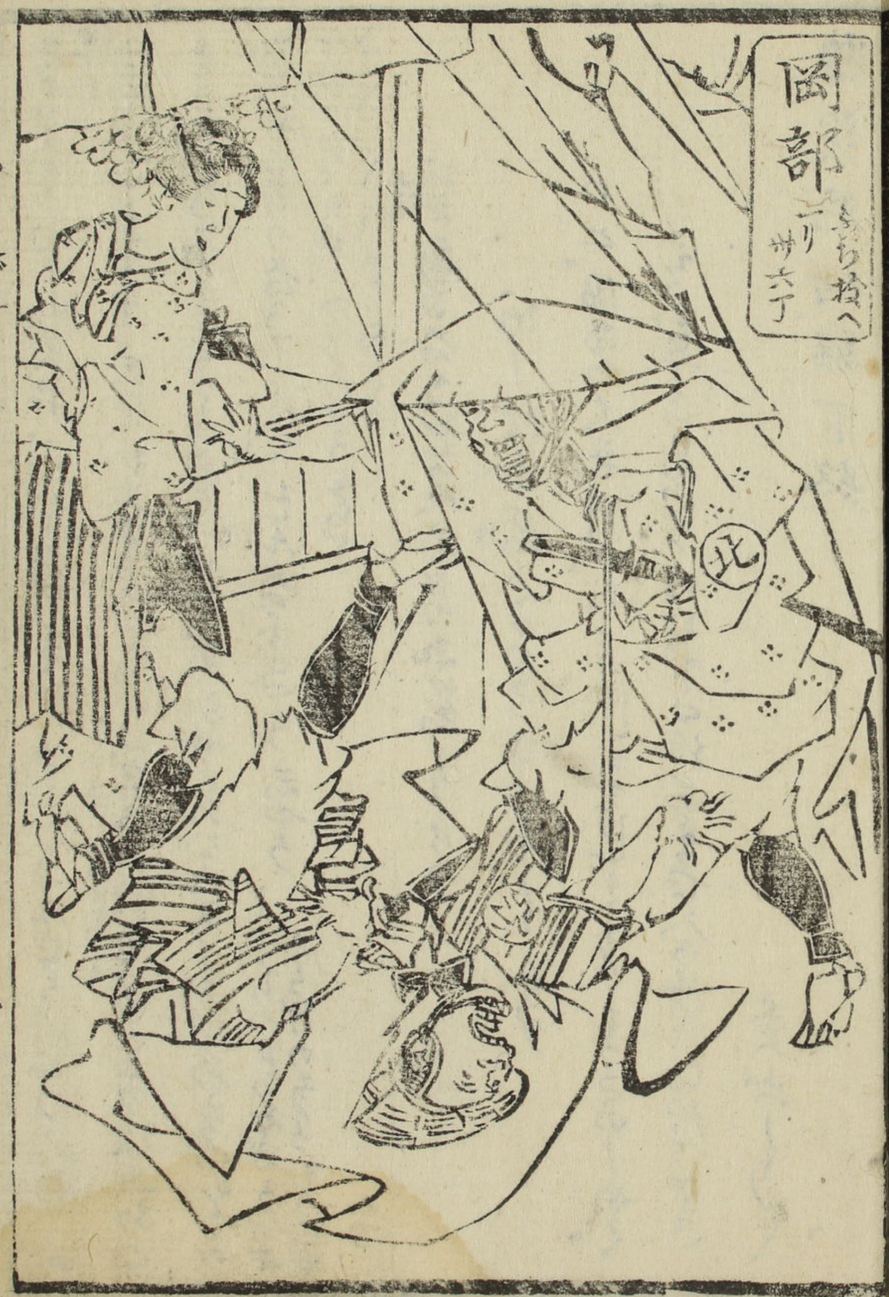
江戸
久慈之ち

さろ「ゑふもかんぬんせずとやあごろ」「ほ」「ろの」「ほ」「ろの」「ほ」もハイ「ひ」「ぐ」「ぐ」「ぐ

府中
世人なあるこ
コレもとまあ

ごろうそろうそうんむきうまさろうト二人をくぐるあかのを川へぞおくとちろ「あく」ぶんまつのごくめが
ぎうるまうぐ「ぎうつうう」ぐあうるを（ところ）ぐ（ぎ）ぐ（ぎ）ぐ（ぎ


ちんぽこ
ぶらぶら
ニリ
九丁



「このやらうめ」ト、もそもそとこそこそてあげさて
せどもそこめんどうがこれれ「ハ」「ア」ア、うぬ」ト、すりとぬきもとこそこそ
ろぬきべべとこそくきうとこそこ
「うんこふまけとめるぬんか」ト、つくこそこそ
もるのこそこそのうきアあづきりあさこそ「ヤレチャ」ト、こそこてて
こそうんごアート、こんがらがらぎやこそこぐけみぬくくしこ妹「こそこかけ」ト、ねんさ
きんいこそこそトきこさとこそこんこ「うんごてあるごアノこそくけで一番こそあこそ
うんこうこするふうふいこちそとごじとこんびこそくみきりこそこすき
こう体のこれさアーうまこがるいきごいみ絵のそこごこ」考るの弱たるごれ
ごもこそごちくもこでふこうつ石をちくふみ十ごんごの家やをく
こうなるみ絵に美人ありの手拭こそらみこそびく
ふりきりこそやあくまこの十ごんこそこそけとこそこそうの山を
こそのしゆくのこそ
きこそ引きこそこて
「あこそあり」ト、ごこそのきこそ「イヤこそこらこアんぶ川をこき

[illegible]「大井川」[illegible]

[illegible]

[illegible]